末吉町熊野神社の鬼追い

【所 在 地】曽於市末吉町深川(熊野神社の鬼追い保存会)

【種 別】県指定無形民俗文化財

【指定年月日】平成6年3月16日



仏教的年頭行事である修正会の流れを汲む修正鬼会と考えられるものであり, 鹿児島県 においては他に例のないものである。

光明寺跡にある熊野神社で,1月7日夜に行われる。

1月4日から,鬼追いの準備(鬼の製作等)が始まり,1月7日の早朝行われる「おねっけたっけ(鬼火焚き)」の時使用した竹で神酒を入れる竹筒を作る。

神事のあと,三匹の鬼(鬼1人,ツケ2人の3人で一匹)が鬼堂から参道に飛び出し,参道外れの仁王像のところに用意された神酒を飲んだ後,参詣客の中を暴れ回る。鬼は鬼の手で,ツケは樫の棒で参詣者を叩く。人々は恐れながらも鬼の御幣をちぎる。(叩かれた人あるいは御幣を取った人は1年間無病息災だとの言い伝えがある。)

おおよそ 40 分で鬼は鬼堂へ帰り,この後,用意された煎豆が参詣者に配られて,鬼追いの祭は終了する。

鬼は 25 才の厄年の男性が扮することになっており,誰であるかは会長以外は知らない。 鬼のかぶりものは,通常の鬼面ではなく,竹籠や藁で作った原型に紙の御幣を何枚も取り付けた独特の物である。